

# 富士見の景観

## 療養所のシンボルツリー

富士見高原病院の中庭に大きな「花の木」がある。根元から少し上がったところで二つに分かれていて、北側の幹は192cm、南側は195cm。高さは20mほど。樹齢はおよそ90年。仲良く寄り添うようにして、建物の上へと枝葉を広げ深く根を張っている。雌花の種子はプロペラ型で、回転しながら落下する。四季折々の美しい姿は、院内の売店の通路の窓越しに眺めることができる。いつしか病院の中心にあつて、見る者に力を与え続けるシンボルとなり、先人の思いを形象していた。

療養所は、澄んだ空気の高原に、陽ざしを利用して結核治療の先駆者である正木俊二（不如丘）によって、大正15年（1926）に創設された。当時の面影を残す建物の一部は、病棟としての役目を終え、今は資料館として存在する。館に入ると、部屋の鍵をあける音や床の軋む響きが、訪れる者を文人にしてみせしめる。館長の荒川じんべい氏が療養所の歴史を紐解いている。樹木の資料が乏しいなかで、犬養木堂（犬養毅）の『白林荘』にある花の木との繋がりを語ってくれた。診療所のシンボルマークの太陽に創造する思いから、開所の頃玄関先に植えられたのであろうか。花の木はその場所の人々を見守り続け、また人々も花の木を見守っている。



春：雌花が芽吹きの前に咲く



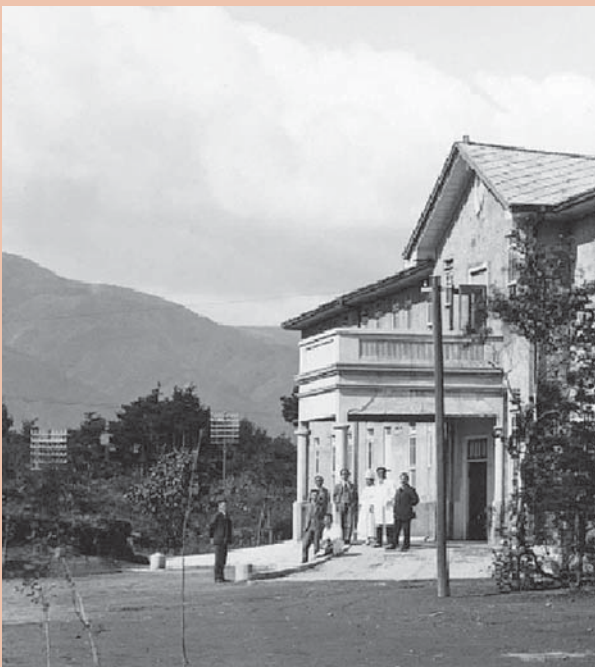
夏：萌え、繁る葉



冬：落葉し陽ざしを人々へそそぐ



写真提供：JA長野厚生連 富士見高原病院  
写真撮影：荒川じんべい©



ハナノキ【花の木、学名Acer pycnanthum】カエデ科カエデ属の落葉樹。雌雄異種。ハナカエデともいいます。国の天然記念物に指定されていて、日本の固有種で長野・岐阜・愛知・滋賀の4県にのみ自生しています。最近では街路樹・公園などに植栽されることも多くなりましたが、大気の汚れている環境には弱いようです。一回り大きな葉で似たような「アメリカハナノキ」もあります。紅色の葉の裏側は『粉白色』で、落葉の中に銀色に輝いて見えるのかもしれない。

問 富士見町役場 建設課 都市計画管理係

☎ 026-9216

- ◆町の人口と世帯数 平成23年11月1日現在(前月比)  
住民基本台帳人口 男性/7,543人(-9) 女性/7,754人(+3) 合計/15,297人(-6) 世帯/5,726世帯(-4)
- ◆発行日 平成23年12月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10,777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.nagano.jp> Eメール [fujimi@town.fujimi.nagano.jp](mailto:fujimi@town.fujimi.nagano.jp) ◆印刷 (有)富士見印刷

休日・夜間の緊急医電話番号案内 長野県救急医療情報センター  
TEL 0120-890-422